# フォーラムニュース　Vol.18　2020　10/20

**発行：フォーラム･子どもたちの未来のために実行委員会**

http://www.f-kodomotachinomirai.com/

文責／大竹永介

## 【連載企画】コロナの時代の子どもたちへ

## この経験を語り、表現してほしい

**あさのあつこ**

16 号の角野栄子さんからスタートした連続企画「コロナの時代の子どもたちへ」。第 3 回の今月はあさのあつこさん（写真）の登場です。（編集部）

みなさん、今年の暑い暑い夏をどう過ごしましたか。今年の夏は天候に限らず何もかもが異様な季節となりましたね。学校にも行けず、外出もままならず、友達とも遊べない。そんな日々を過ごした人が多かった、いえ、大半だったのではないでしょうか。

コロナという突然の災厄の中で、みなさんは何を考え、何を感じましたか。そして、コロナ禍が続いている今、何を考え、感じていますか。もしできるなら、自分の内にある考えや想いを、誰かとおしゃべりしてみてください。みんながお友達とでも、お父さんお母さんでも、おじいちゃんおばあちゃんでも誰かと話ができたらいいなと思います。

わたしたちは誰もが、コロナという未知の経験をしました。それは、病気に罹る罹らないということだけではなく。今までわたしたちの周りにありながら、見えていなかったこと、見ようとしていなかったこと、見ないふりをしてきたこと等々を目の当たりにしてしまったということでもあります。

人の命は平等ではなく、明らかな格差がある。体力や病の重さではなく貧しさゆえに治療を受けられず亡くなる人たちがたくさんいる。

わたしたちの社会はとても脆くて、弱い人を守り切れない。感染者や医療従事者に同情や感謝をする一方、ひどい迫害や排除を平気で行う。そういう諸々をわたしたちは見てしまいました。

反面、献身的に患者に向き合う人たち、命懸けでウィルスと闘う人たち、困窮者を救おうと立ち上がる人たち、経済的に追い詰められながら必死で踏ん張る人たち。そんな人の生き方も知りました。わたしたち自

身が、わたしたちの社会や政治が、抱え持つ光と影を目の当たりにしたのです。

そういう経験を忘れないでください。語り続けてください。あるいは書いたり、歌ったり、描いたりどんな方法でもいいから表現してみてください。わたしたち大人もそうしなければなりません。

このコロナはいつか収束するでしょう。でも、新たな何かがまた現れます。

そのとき、より人間的であるために、他者を排除するのではなく他者と結びついて行くためにどうすればいいか。今の自分を表現することで、未来への答えが見つかる気がします。

【あさのあつこ：1954 年生まれ。岡山県出身。青山学院大学文学部卒。主な作品に「バッテリー」（講談社児童出版文化賞、小学館児童出版文化賞）「No.6」「たまゆら」（島清恋愛文学賞）など多数。「季節風」同人。】

【予告】「コロナの時代の子どもたちへ」、次号は武田美穂さんが登場の予定です。ご期待ください！

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

## 「子どもにつたえる日本国憲法」の朗読動画をちひろ美術館が配信！

★2016 年 4 月にフォーラム主催で朗読会が開催されたこともある「井上ひさしの子どもつたえる日本国憲法」（講談社刊）の朗読動画がこのほどちひろ美術館から配信されることになりました。そこで、この企画に込めた思いなどについて同美術館の竹迫佑子さんに文章を寄せていただきました。（編集部）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「日本国憲法のなかでも、『これだけは読んでおいてほしい』と思う前文と第九条を小学生にも読めるように」と、『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』が出版されたのは 2006 年。井上訳の憲法前文に、以下の一節があります。

この国の生き方を決める力は／私たち国民だけにある
そのことをいま／世界に向けてはっきりと言い
この国の大切なかたちを／憲法にまとめることにする
私たちは代わりの人たちに／国を治めさせることにした
その人たちに力があるのは／私たちが任せたからであり
その人たちがつくりだした値打ちは／私たちのものである

原文は、「ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由

来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する」。

今、安倍内閣を継承した菅内閣は、政権にとって都合のよいように政治を推し進めていく様相で、早々に「自助・共助・公助」を謳い、新自由主義そのものの冷たい本質を見せ、一方で、日本学術会議の人事に関わってはかつて政府に都合の悪い意見表明をした６者の任命を拒否するなど、これまで以上に危険な素顔を露骨に見せはじめています。コロナ対策は後手でも、改憲の動きは速やかで、菅内閣が発足後も国会を開かない一方で改憲準備は余念なく、それどころか、憲法改正の手続きは行わずとも「解釈変更」だけで、日本国憲法で堅持してきた国のあり様を大きく変えていくことが現実的に危惧されます。

だからこそ、『井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法』を、ぜひ読みなおしたい、さらに広く知ってほしい。ちひろ美術館はそう考え、同書の朗読動画を制作しました。井上ユリさん（井上ひさし氏夫人）の全面的な協力も得、さらに本フォーラムでも以前お話をしてくださった女優の斉藤とも子さんが朗読をしてくださり、動画が完成しました。これから、当館の YouTube、Facebook、Twitter で配信します。

今年は、井上ひさしさんの没後 10 年。この 10 年間、日本も世界も、決してよい方向へ向かっていないと思えます。この国でも次々に繰り返される政治的暴挙には、「何をしたって変わらない、良くはならない」と、私たちが諦めるのを待つ為政者の意図があるように思えます。でも、私たちは諦めるわけにはいきません。「この国の生き方を決める力は、私たち国民だけにある」のですから。竹迫佑子

（たけさこゆうこ 公益財団法人いわさきちひろ記念事業団事務局長）

URL:https://youtu.be/cXr0Jymes8k

上記 URL と左の QR コードからお試しください。

★ちひろ美術館・東京では「子どもの心を見つめて　いわさきちひろ展」を世田谷文学館では「井上ひさし展」を開催中。

問：ちひろ☎03・3995・0612 井上☎03・5374・9111 まで。

●フォーラムニュース 18 号をお届けいたします。菅首相による学術会議委員任命拒否を受けて抗議声明（10 月 15 日付）を出したり、号外を出したりとあわただしく、本号の配信が遅れましたことをお詫びいたします。●抗議声明は小さくですが朝日新聞 16 日朝刊でも取り上げられました。デジタル版にも配信されています。以下の URL からご覧ください。

https://digital.asahi.com/articles/ASNBH63CZNBHUTFL01G.htm　●ようやく秋らしくなったと思えばとたんに寒い日もありと体調を崩しがちな時期です。秋冬はコロナにも更なる警戒が必要とか。皆様くれぐれもお体にお気をつけてお過ごしください。ご意見、ご感想、配信停止のご連絡は f.kodomo.mirai@gmail.com までお願いいたします。（大竹）